

初期研修プログラム

和歌山生協病院では卒後1年目から3年目の看護師を初期研修として位置づけ研修を行っています。研修の内容を紹介をします



○集合研修

部署に配属される前に2週間ほどオリエンテーションや座学、看護技術チェックなどを集合で行います。配属先への不安や新人看護師として勤務する不安などに対して、配属先の各服主任がサポートし先輩看護師も協力してくれます。新人職員同士でのコミュニケーションも取りながら、配属先の環境にスムーズに慣れることができるように努めています。



○シャドーウィング

自身が配属される部署に行き、検温や処置等どんなことをしているのか実際の現場を見学してもらっています。また、配属部署の雰囲気を見られる機会となっています。夜勤開始時にも実施しており、実際に勤務している先輩についてまわることで、夜勤の雰囲気や時間の流れを体験してもらうことで、夜勤開始時の不安の軽減に努めています。



○他部署研修

技術部（薬剤課・検査課・放射線課・食養課）や大腸カメラの検査入院について看護業務との連携や電子カルテの操作・クリニカルパスを学ぶことができます。また法人内の訪問看護ステーションや在宅支援センターでの研修を通して病院との連携について学び退院支援につなげています



○里親研修

年に数回、病院外の事業所に1日研修行きます。地域を知り学びを深め組合員さんとの交流を図っています。病院外との交流を図ることで、みんなが成長を見守っています

○プリセプター制度

一人の新人看護師に一人の先輩看護師が指導する教育をとっています。



○入院体験（1年目）

自身で病気を設定し患者になりきって実際の病室で1泊入院体験をします。ペースト食やとろみ茶、点滴投与を経験し、患者さんの気持ちを体験します。患者さんの気持ちや環境を理解し患者さんが気になることなど気づく機会になります。入院環境が患者さんにとってどのようなストレスを感じているかを学ぶ機会にもなっています。

○気になる患者訪問（2年目）

入院中に関わった患者を対象とし、退院後自宅へ訪問させていただき、居住環境だけでなく経済状況や生活背景を知る機会としています。退院後の生活を知り、日々の退院支援につなげています。



○症例発表（3年目）

受け持ち患者さんの症例をまとめてもらいます。部署全体からアドバイスをもらいながら症例を完成させます。自分の行った看護のよかったところ、もう少しこうすればよかったなどを振り返り可視化する機会を設けています。



○平和の学習

病院の理念として「人々の健康や暮らしを破壊する事由に反対し、変和と環境を守る」事を掲げています。院内学習会やセミナー、憲法カフェや平和行進など様々な取り組みに参加しています。また、広島や長崎で行われる原水爆禁止世界大会や沖縄の辺野古支援連帯行動にも参加します。現地の方や世界から集まる平和についての話を聞くことで理解を深め、医療・平和活動につなげるよう学習をしています。



○ストレスマネジメント

臨床心理士によりラダーにそった講義を行っています。

集団・個別面談と実施しており、なんでも相談できる場を設けています。

上記以外にも研修はあります。3年で終了するのではなく、継続して学んでいます。